

落花期～6月下旬におけるリンゴ褐斑病の防除

りんご病害の防除において、落花期～6月下旬の薬剤散布は、褐斑病の防除にも重要である。この時期の防除薬剤の中から褐斑病にも効果の高い薬剤を選択することで効率的に防除できる。



図 リンゴ褐斑病の病徴
秋期に黄変落葉する病害であり、果実品質の低下や翌年の花芽形成に悪影響を与える。

リンゴ褐斑病の防除適期の比較

防除時期	5月	6月	7月	8月
従来の防除時期			←————→	
今回示した防除適期	←————→			

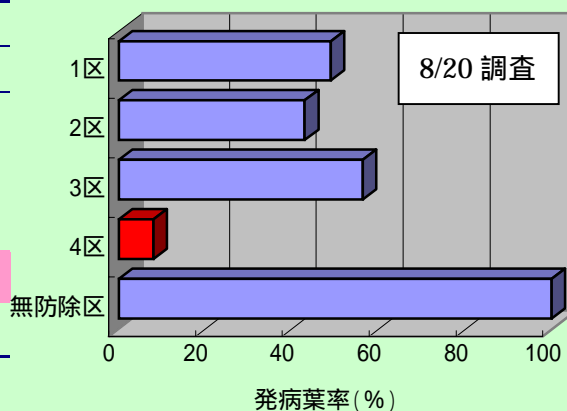
本病の防除時期は、これまで7月以降（表1上）としてきたが、必ずしも十分な防除効果が得られていない。そこで、本病の防除適期について改めて検討したところ、**落花期～6月下旬**（表1下）が**重要な防除時期**であることが明らかになった。

褐斑病に効果の高い殺菌剤と効果的な使用時期

一般名	商品名	希釈倍数	効果的な使用時期
マンゼブ水和剤	ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤	600倍	落花期～ 落花20日
ジチアノン水和剤	デランフロアブル	2000倍	
マンネブ・チオファネートメチル水和剤	ラビライト水和剤	600倍	
シプロジニル・ジラム水和剤	ユニックスZ水和剤	500倍	6月下旬

試験区	散布日		
	5/13	5/26	6/10
1区	-	-	-
2区	-	-	-
3区	-	-	-
4区	-	-	-
無防除区	-	-	-

：ジチアノン水和剤



落花期～6月中旬に効果の高い薬剤を**3回散布**（4区）することで、秋期発生を抑えることができる。この理由として、この時期に起こる一次感染が抑えられるためであると考えられる。